

地域未来戦略（原案）の全体構成

目標

47都道府県のどこに住んでいても、安全に生活することができ、必要な医療・福祉や、質の高い教育を受けることができ、働く場所がある社会の実現
そのためには、強い地域経済の構築が不可欠

政策目標

強い地域経済の構築

- ・ 17の戦略分野における官民投資を推進する成長戦略との連携の下、地方に大規模な投資を呼び込み、各地に産業クラスターを戦略的に形成。
- ・ 地方の大きな伸び代である多様で魅力ある地域資源を最大限に活用し、地場産業を含む地域の産業、地域経済の持続的な成長を図る。

豊かな生活環境の実現

- ・ 持続可能な生活インフラの実現
- ・ 地域の暮らしの満足感向上

選ばれる地方の実現

- ・ 魅力が感じられる地方の実現

施策

- ・ 産業クラスター形成に伴う高付加価値型産業創出
A. 戦略産業クラスター計画
17の戦略分野に関連する企業の大規模投資を起点とする産業クラスター
B. 地域産業クラスター計画
都道府県が主導し、形成を進める産業クラスター
C. 地場産業成長プラン
市町村が主導する地場産業を含む地域の産業を育成 等
- ・ 地域の産業クラスター・地場産業を支える仕組みづくり
(計171施策)

- ・ 公共交通の維持
- ・ 買物環境の維持
- ・ インフラの維持
- ・ 災害対応の強化の促進
- ・ 満足できる子育て・医療・介護・福祉サービスの実現
- ・ 持続可能なまちづくり
(計121施策)

- ・ 多様性に富んだ地方の実現
- ・ 地域の男女共同参画・女性活躍の推進
- ・ 教育環境整備の推進
- ・ 都市と地方の共生の実現
- ・ 地方への移住推進
(計63施策)

横断的施策

人的支援・人材育成／情報支援・デジタルツールの整備／規制・制度改革／財政・金融による支援等／その他（政府関係機関の地方移転、広域リージョン連携 等）

(計23施策)

(合計 378施策) ※施策数は再掲含む。

進捗や成果を客観的かつ的確に把握できるKPIを設定し、PDCAサイクルを徹底。

地域未来交付金（地域未来推進型）

- 地方の大きな伸び代と地域特性を最大限に活かし、地方の暮らしの安定を実現するとともに「強い経済」を構築するため、地場産業の付加価値向上など、地方公共団体の地域独自の取組を幅広く支援する。
- 従来の地方創生に資する取組のみならず、各自治体による産業クラスター計画や地場産業の成長戦略が、真に地方の活力を最大化することに繋がるような取組を推進する。
- ソフト・ハードや分野横断的な取組を一体的に支援。

制度の概要

- ・地方自治体への補助率は原則1/2。（インフラ整備事業は、各省庁の交付要綱に従う。）
- ・事業計画期間は、原則 3 か年度以内。（インフラ整備事業は、原則 5 か年度以内。）
- ・ソフト事業・拠点整備事業の交付上限額は、1 自治体当たり、都道府県及び中核中枢都市でそれぞれ15億円/年度、その他市区町村で10億円/年度。（インフラ整備事業の1 自治体当たり総国費は、都道府県で50億円、中核中核都市で20億円、その他市区町村で10億円。）



スタートアップ支援拠点の整備



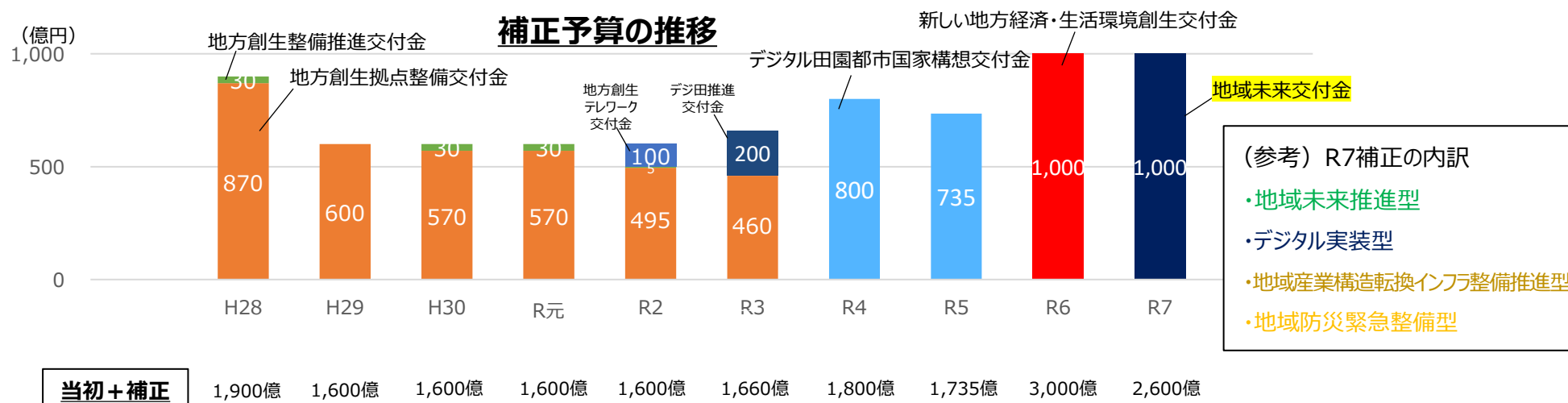
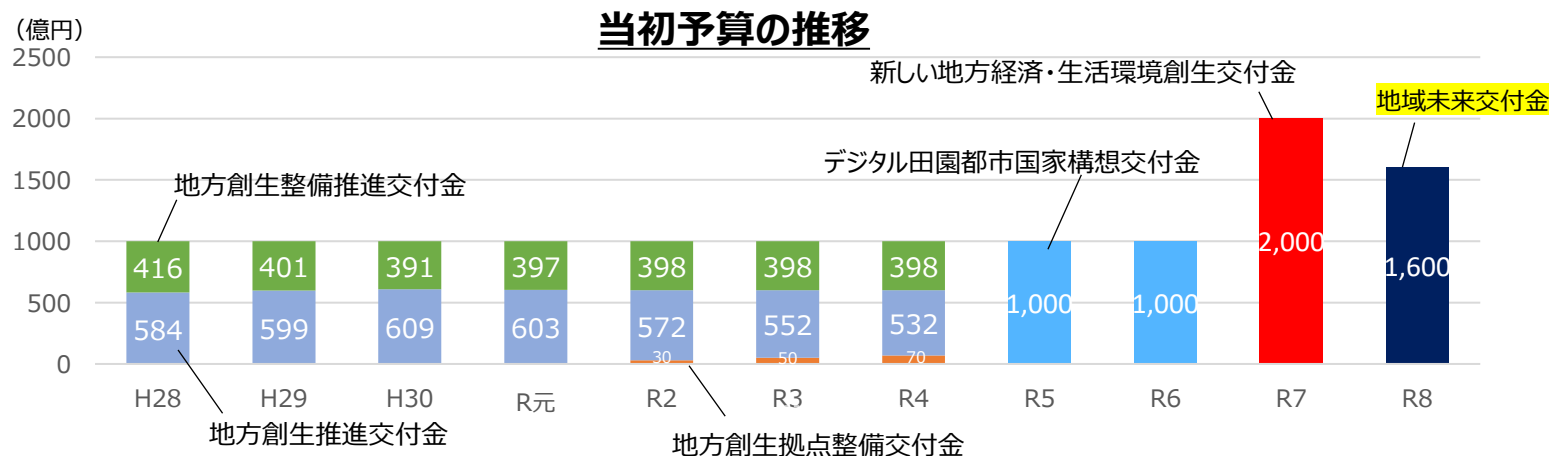
地場産品の販売促進



温泉施設等観光拠点の整備

地域未来交付金

- R7補正予算において、「地域未来交付金」を創設。
- **R8当初：1,600億円／R7補正：1,000億円**（R7当初：2,000億円／R6補正：1,000億円）。



事業概要：「こどもまんなか えひめ」実現プロジェクト

新規

申請者	愛媛県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	468,541千円 (151,676千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- すべての若者が夢を持ち、健やかで幸せに成長し、結婚や子育ての希望が叶う「こどもまんなか えひめ」を実現し、若者に選ばれ、将来的に出生数が増加する社会を形成する。 - 企業の多様な人材確保と魅力ある職場環境の形成を促し、企業の垣根を超えた交流を通じて、地域産業の連携強化と新事業の創出につなげ、結果として地場産業の付加価値向上と地域経済の維持につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内企業の働き方改革・女性活躍推進を通じた「若者や女性に選ばれる愛媛県」への転換、仕事のやりがい創出と異業種交流による若年層の定着、安全・安心な子育て環境の整備などに取り組む。					アウトリーチ型子育て支援拠点 イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 - 企業の働き方改革の取組支援（約700万円） - 企業の風土改善やアンコンシャスバイアスの解消に向けた気運醸成（約700万円） - 多様な価値観や経験を持つ女性との新たな出会いや交流機会の創出（約500万円） - 企業の女性活躍推進の取組支援（約6900万円） - 企業の垣根を超えた交流会の開催（約800万円） - 移動式ベビーケアルームの運営（約1500万円） など						

事業概要：SAGA Woman Canvas ―私が私を描く―プロジェクト

新規

申請者	佐賀県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	124,458千円 (65,026千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスについて考え、気づきへとつなげるとともに、女性のモチベーションの向上やビジネス領域での積極的なチャレンジを後押しすることで、様々な価値観を持つ女性が佐賀でいきいきと暮らし、希望する形で自己実現していく環境を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 女性が自らの生き方・はたらき方を描き、前に進んでいけるよう、女性を後押しする取り組みを実施することで女性自身の具体的な行動につなげていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・もんだプロジェクト（約700万円） 「それは女性（男性）がやる”もんだ”」といったアンコンシャス・バイアス等の事例を募集することを通じて、県民に考えるきっかけや自分事として捉える機会を提供し、あたりまえだと思っていたことが必ずしもそうではないという気づきへとつなげる。 ・SAGA×WOMAN EXPO2026の開催（約2900万円） SAGA×WOMAN EXPO2026を開催し、多様な価値観を持つ佐賀の全ての女性に向け、学びにつながるセミナーや県・企業のブース出展による情報発信により、女性のモチベーション向上を図る。 ・女性のためのキャリアトークカフェ（約1600万円） 悩みの共有やロールモデルとの出会い、女性同士の交流などを通じた「刺激」「気づき」の場を提供し、自身のキャリアに向き合うとともに自己実現のための活動意欲を高める。 ・SAGA Woman Work Designプロジェクト（約1400万円） 佐賀を、もっと女性がやりたい仕事に挑戦し、実現できるフィールドにするため、ビジネススキルアップ、人脈構築など、起業やキャリアアップを目指す女性のチャレンジを後押しする。						

申請者	熊本県宇城市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	111,768千円 (57,092千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・若者や女性が地域に住み続けながら学び、安定した就労につながる環境を整備し、人口流出抑制と人材定着を図る。 ・デジタルスキル等の習得を支援することで、多様で柔軟な働き方を可能とし、地域内に新たな就労機会を創出する。 ・リモートワークや企業連携を通じて、地域にしながら全国規模の仕事に関われる仕組みを構築し、定住促進を図る。 ・所得向上と人材の循環を通じて、地域産業の付加価値を高め、地域経済の持続的な好循環を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ◆ 特に20歳～39歳の女性が地域に住み続けながら安定した就労を実現できる環境を整備するため、リスキリングと就労支援を一体的に行う拠点「UKI CAREER Hub.（仮称）」をイオンモール宇城内に整備。 ◆ 施設では、デジタルスキル等の習得機会を提供するとともに、コワーキングスペースや交流機能を備え、学習・実践・交流を一体的に行える環境を構築。 ◆ 民間事業者の専門性を活用した運営や企業とのマッチング支援を行い、リモートワーク等を含む多様な働き方の実現を支援することで、出産・育児期にある女性を含め、20歳～39歳の女性が地域に住み続けながら働き続けられる条件を整える。 ◆ 地域内での安定就労につなげる仕組みを構築し、人口の流出抑制を図るとともに、市民所得の向上及びデジタル人材の育成を通じた地域産業の付加価値向上を促進し、地域経済の持続的な活性化を目指す。					 ※画像はイメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業：キャリアアップ支援施設指定管理業務委託料 約1400万円 ○拠点整備事業：建築物整備、備品、効果促進事業経費 約4300万円						

※画像はイメージ